

## ■イノシシの生態

イノシシは本来昼行性の動物で、人間を警戒する必要のないところでは昼間活動しています。

たけのこ、くずの根、どんぐり、ミミズ、蛇、カエル、昆虫など植物、動物問わず雑食性で何でも食べます。

## ■イノシシの運動能力

イノシシの運動能力には次のような点が明らかにされています。

- ・跳躍力に優れ、1m以上の高さを助走なしで飛び越えることができる。
- ・潜り抜けることも得意で、有刺鉄線などのように多少でも柔軟性がある場合、20cmの隙間があれば成獣でも地面を掘らずに通り返ることができる。
- ・障害物に対しては奥行きを持たせるなど複雑になっていくと、飛び越えず潜り抜けようとする。
- ・鼻の力が非常に強く、成獣で80kgの重さを持ち上げられる。

## ■被害防止の諸条件

- ・いくつかの防除方法を併用し、それぞれの弱点を補うように設置する。電気柵の内側にトタンを設置するなどして、奥行きを持たせる方法が有効。
- ・イノシシは普段から行き慣れていない場所への侵入は用心深いので、年間を通じて田畑に侵入されないように柵をするとよい。
- ・商品価値のない作物や熟して落ちた果実を放置しないなど、少しでもイノシシが近づきたいと思う要因を排除した環境づくりが重要。

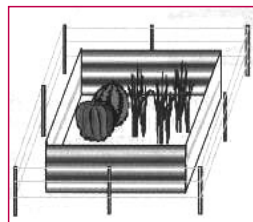
今回はイノシシが  
どのような動物で、  
どのような防除対策が  
有効かを紹介します。



イラスト・写真出展：農林水産技術会事務局  
「農林業における野生獣類の被害対策基礎知識」

## ■効果的な侵入防止柵

- ・柵全般の設置ポイント柵の背後が藪になっていないようにする。
  - ・トタン設置のポイント隙間やガタツキをなくす。
  - ・電気柵の設置ポイント  
電圧を常に確認すること。碍子はイノシシ側に向ける。最下線は20cmとし、雑草による漏電に注意する。アースがきちんと取られているか確認。
- ※ネット単独での使用では農作物が見え、破られやすいので確実な侵入防止は困難です。トタンと併せて使用するなど、他の対策と組合せて使用する必要があります。
- ※侵入防止柵設置のポイントの詳細は農業振興課鳥獣害対策係までお問い合わせください。



▲ 電柵＋トタン

## ★冬場に餌場を与えない★

鹿はこれからの季節、笹、常緑樹の葉、樹皮、枯れ葉などを食べて飢えをしのぎます。しかし、里にはヨモギ、タンポポ、ホトケノザなど青々した草がたくさん生えており、これらが貴重な冬場のエサとなるため、鹿が里までおりにてきます。また、繁殖力を高める原因となっています。

従って、この時期の里の青草を少しでもなくす必要があります。その為には、夏から秋にかけての除草作業の最終時期を遅くするなど、雑草の状況を見て作業計画を立てることが必要です。

鹿や猿は、収穫後の落穂やヒコバエ(田の切り株、稲の刈り後から出てくる芽)の穂を食べます。また、イノシシはわらの下に潜んでいる虫を食べたりします。これをほうっておくと、田んぼを餌場として覚えてしまいます。稲刈り後はできるだけ早く耕して、これらを土に埋めしてしまうことが餌場としての価値をなくすことにつながります。また、取り残しの野菜なども農地に残さないようにしましょう。

問い合わせ 農業振興課 鳥獣害対策係  
☎65-0734 FAX 63-4592

鳥獣害対策  
ニュース

4

イノシシ  
対策